

広報



# しゅら



勝負だ！  
サア

## 力が入る“大一番”

第十回村民体育大会は七月十七日慈元小学校グラウンドで開催され、冬期大会で優勝を

決めていた相内第一チームが夏期大会でも優勝しました。また、市浦宮林署長杯（イ

ス跳び競争）は、相内第四チームが九連覇に輝き“不動”のものになりました。  
（関連記事四・五面）

ヨイショ、ヨイショのかけ声で思いっきり力が入る

昭和58年 7月号

第11回村民健康会議

年間  
スローガン

# 高血圧をなくしよう

# ガン

## 制圧は

## 早期発見・早期治療



熱心に話し合われた村民健康会議

- 妊婦検診については、毎年継続実施してきたが、妊娠届出する人が減少し、さらに妊婦検診に訪れる人が一・四人と少ないので、忙しいところおいでくださる医師にも申し訳ないということで、五十八年度は中止することになりました。
- 初妊婦には届出後一カ月以内に訪問指導をします。
- 妊産婦に対する牛乳支給は継続します。
- 全出生児を対象に新生児（生まれて一カ月以内）訪問し、異常の早期発見と育児指導をします。
- 乳幼児検診は、乳児8回、一歳六カ月児4回、三歳児2回の計14回実施し、内容充実のため一歳六カ月児検診に歯みがき指導、おやつとの与え方指導を加える。
- 子どもを対象とした歯のコンクールを継続実施する。

恒例となつた「村民健康会議」はこのほどコミュニティセンターで開かれ、百二十人の村民が集まり、分散会で熱心に話し合いを深めました。ことしで十一回目を迎えた健康会議では「高血圧をなくしよう」「早期発見、早期治療でガンを制圧しよう」をスローガンにかかげ、会議のちり方、形式もこれまでとガラリと変えました。

第一部では分散会、第二部で講演会、第三部には表彰式と三部に分け、最初から自分の健康管理や環境問題についてじっくり考えてもらおうという趣向。

講演会には作家の小田原金一氏を招き、「少年非行はなぜ起きるか」をテーマに講演し、大きな社会問題にまで発展している最近の校内暴力や家庭内暴力をとりあげました。小田原氏は、県内で発生した具体的な事例や独得のユー

モアを交えながら語りかけ「モノを与えて子どもを教育することは、とんでもない間違いだ。自動車やバイクを買い与えて子どもはよくなったか。子ども部屋をつくってやって子どもが勉強するようになったと思つているのか? 子どもはモノで育つものではない。しっかりと親の考え方と決意、家族のために働く親の後姿をみて子どもは育つのである。その原点にかえる必要がある」と結びました。

このあと、国民健康保険健康優良家庭、献血協力者の表彰式があり、献血協力者の丁子谷悟さんが被表彰者を代表して謝辞を述べました。

健康会議の分散会では、こんなことも話しあわれた

## さて、あなたは



### 乳幼児検診の内容充実

#### 母子保健対策

導をします。

■ 母乳栄養児が増えてきたが、これをさらに普及させるため「生後一カ月半までは母乳だけで育てよう」をスローガンに母乳優先の強調指導をします。また、離乳食についても指導を継続します。



# 第10回村民体育大会

# 1,500人が



アトラクション、脳元駒踊り



# 親睦深める



石岡和人君の力強い選手宣誓

この大会は、スポーツを通じて体力の増進と親睦を深めよう。と毎年七月の第三日曜日に村内地区別班対抗で開催

催しているのですが、村内各地区の地域性を生かし、数多くの村民に参加する機会を与えるために、会場を待ちま

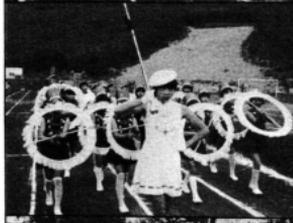
## 相内第一が総合優勝 イス跳びは相内第四が九連勝

わりにしました。この日は、村内から十班、全チームが参加し、子どもからお年寄りまで、選手を含めて千五百人を越える住民が集まりました。

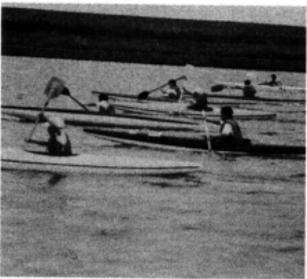
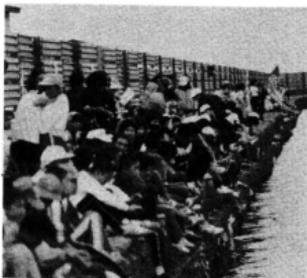
競技種目も、親子三代リレー、輪投げ、イス跳び、ボール送り競争など子どもからお年寄りまで、いっしょに楽しめるものばかりです。また、毎年三月に開催している冬期村民スポーツ大会との総合優勝制を取り入れていることから、選手にレース中

の作戦を受ける団長や期待はずれの選手にガツクリ肩を落とす監督、家族の応援にハッスルするお父さんなど、会場は熱狂的な声援と爆笑がこだましていました。

三位十三第一。▼同(女)優勝相内第一。準優勝脇元第一。第三位十三第一。▼市浦営林署長杯(イス跳び競争)優勝相内第四チーム。



# 県カヌーレース大会 十三海洋クラブ 上位独占



(上) 懸命に声援をおくる湖岸の応援団  
(下) 力いっぱいパドルをこぐ選手たち

青森県カヌー協会 久保佐  
仲太会長) 主催の十三湖カヌ  
ーレース大会は、七月十日(日  
曜日)十三海洋クラブ前湖カ  
ヌー場で開かれました。

こととして三回目を迎えた大  
会には、地元十三海洋クラブ  
のほか、青森カヌークラブ、  
弘前海洋センター、尾上海洋  
センター、鶴田海洋クラブ、  
十和田湖小・中学校から児童  
生徒約百三十人が参加。

あいにくの冷たいヤマセ  
にみまわれながらも、十三漁  
業協同組合や十三小学校PT  
A 役員らの全面的なバックア  
ップを受け、ライフジャケット  
を着用した選手たちは、応  
援にかけつけた父母の声援や  
拍手をうけ、力いっぱいパド  
ルをこいでいました。

- 競技の結果は次のとおりで  
す。
- ▽小学校四年女子の部 ①秋  
田裕子(十三)②奈良一美  
(十三)③柳谷十和(十三)
  - ▽小学校四年男子の部 ①米  
谷了(二十三)②織田健典(十  
和田湖)③工藤竜太(十和田  
湖)
  - ▽小学校五年女子の部 ①豊  
島夏子(十三)②中井歩美(十  
三)③本荘千登世(十三)
  - ▽小学校五年男子の部 ①久  
保直人(十年田湖)②森山省  
吾(尾上)③菅原薫(十和田  
湖)
  - ▽小学校六年女子の部 ①長  
尾ゆう子(十三)②工藤柳子  
(十三)③本荘恵理香(十三)
  - ▽小学校六年男子の部 ①川  
村一元(十和田湖)②工藤稔  
大(十三)③中井光秋(十三)
  - ▽中学校女子の部 ①菊池佳  
子(十和田湖)②米谷千春(十  
三)③久保美保子(十和田湖)
  - ▽中学校男子の部 ①相川聡  
貴(十三)②佐藤孝和(十三)  
③高瀬寿彦(十和田湖)

## B & G 東北大会予選 強さ発揮し東北大会へ



東北大会への出場権をかけた技を競うカッターとヨット競技

B & G 市浦海洋センターで  
は、七月十日午後二時から相  
内地区の市浦海洋クラブ大会  
会場、東北ブロック大会出  
場の予選会を開催しました。

権利を得るために開いたもの  
で、市浦海洋クラブ、十三海  
洋クラブ、鶴田海洋クラブの  
代表選手五十人が参加しまし  
た。

- ブルーシー・アンド・グリ  
ーランド財団(略称B & G  
財団・笹川良一会長)では、  
毎年B & G 全国スポーツ大会  
を開催していますが、昭和五  
十六年七月に開催した福島大  
会では、カヌーの部で十三海  
洋クラブの相川聡貴君が区間  
タイムで小学生日本記録を出  
す偉業を成し遂げています。

予選会は七月三十一日と八  
月一日に秋田県鹿代市で開催  
する東北ブロック大会の出場

カヌー、カッター、OPヨ  
ットの各競技に参加した選手  
たちは、応援にかけたクラ  
ブ員の声援を受けながら、  
東北ブロック大会出場をめざ  
して力いっぱい技を競いまっ  
ていました。

カヌー、カッター、OPヨ  
ットの各競技に参加した選手  
たちは、応援にかけたクラ  
ブ員の声援を受けながら、  
東北ブロック大会出場をめざ  
して力いっぱい技を競いまっ  
ていました。

- 東北ブロック大会各競技の出  
場者は次のとおり決ましま  
した。
- 小学生カヌーの部  
相川勝人、中井光秋、長尾ゆ  
う子、工藤柳子(以上十三海  
洋クラブ)
  - 中学生カヌーの部  
相川聡貴、佐藤孝和、米谷千  
春、浜田拓二、小山内聡、加  
納光浩、三上生輝
  - カッターの部(男子七人、  
十三海洋クラブ)
  - カッターの部(女子七人、  
十三海洋クラブ)
  - カッターの部、秋田谷由紀、松  
江賢子、若山美香子、三橋る  
み、宮崎真貴子、相川和子、
  - OPヨットの部、小山内仁、  
豊島聡(以上小学生・十三海  
洋クラブ) 八木沢康、村上健  
(以上中学生・十三海洋クラ  
ブ) 沢田清文、三和永治(以  
上高校生・市浦海洋クラブ)



▶ 55 ◀

# 歴史漫歩

## 阿吽寺

### 阿吽寺

蓮花庵を後にして更に奥深い墨山に向かうことにしました。車はなだらかな坂



を登り、左手に中学校、右手に海洋センター、コミュニティ・センターを突き抜ける。法燈への道が狭く、と展開する原野に通じています。

その道のすぐ左手の高台と名残りの松とでもいうべき一と三もの青松とが何となく訪問する私たちの心をとえて離しません。

故山内委員長のお話では、土師翁や須恵器が多量に出土したところだといえます。今はた、汚物処理係としての数千羽の鳥の群が遊人の心々を囁かのように囁きと鳴く声のみが聞えるこの高台が、中世安東氏の建立した阿吽寺の址(仮定)とあまり知り人がないようです。

### 古文獻の阿吽寺

津輕の古文獻に「十三住

米」というのがあり、その阿吽寺を次のように表現しています。阿吽寺の鐘聲は諸行無常の告をなし、後夜曇朝の動聲は、寂滅為楽の雲を穿つ」と。

また、秋田家古文書「十三添新記」には「阿吽寺の鐘聲は三毒の夢を覚まし、定慧の光を増す」と記載されています。

「阿吽寺の鐘聲は万物みな移りかわって少しも常住しないことを知らせ、人間の善根をそこない毒する三つの煩惱の夢を覚ましてくれるし、夜半や夜明けの僧侶の誦経は開悟の境地へと導いてくれる」とい意味に響きます。

### お曼茶羅の中葉寺院

お曼茶羅というと深浦円覚寺二十六世義親院家の描いたものがあるが、マントラという仏語から出たことばで、仏のすばらしい世界を意味しています。仏のさとりのものを描いた胎藏界曼茶羅と、その仏のさとりに人間が到達する過程を描いた金剛界曼茶羅とがあり、両部曼茶羅と呼

んでいます。

わが村の阿吽寺は、胎藏界曼茶羅の中葉、真中の寺院として建立されたのであります。前に述べた神林寺・長谷寺、これから訪れる三井寺・龍興寺も胎藏界の寺院なわけです。

北海道へ渡海した阿吽寺  
嘉吉三年(永享四年説あり、一四四三—一五四〇年前)

南部氏に攻略されて安東氏が敗れた時に焼打たされ、安東氏に随行した阿吽寺の住職が、十三阿吽寺を偲んで松前町大館に再興したので、我田引水。

私たちが村史編纂委員が阿吽寺を探訪した時には先代院家御夫婦が徹夜で接待してくれました。その後先代御夫婦が相續いて御遊去され、二回目訪問の時に供養をして来ました。合掌。

市浦村の法燈の物語は、はるかなる過去の歴史を物語る、奥深く幽遠なる道であり、また未来に幸福を求め、さとりを開くための村民永劫の道でもあるわけです。

### 津輕のことわざ

ての部

50

手後サ回る 罪につながれること。

敵にも味方、味方にも敵ある 敵の中にもかばってくれる人もあり、味方だと思つて安心していること、とんでもない目にあわされる。

大釜煮立てれば隣りが儲ける 無駄に火をたいては隣家より貧乏になるという意。

手ぶり八貫 樫一貫の意。

手前田サ水 自分勝手なこと、我田引水。

出物羅物ア所纏わね工 尻と吹き出ものは、いつどこで出るか予測できない。だから尻をたれた人を責めるなどという意。

手前味噌をならべる 能書きを並べること。

天サ草、とうてい届かぬこと。

熟籠の弾、行つたまま糖らぬ使者、○藤崎サあんべい手に余る、あつかいかわること。

天子様にも風三匹いる、しらは誰にでもいるという意。

薬劑の発達しない以前はこう考えられていた。

# 磯松バイパス完成

## 7月15日から共用



完成した磯松バイパス。県内では初めての試みとしてバイパスの出入口には導流島が設置されました。

磯松地区を通る国道三三九号線は、幅員が狭くカーブが多ことから、交通事故の危険性が高かったが、このほど「磯松バイパス」が完成し、七月十五日から共用されています。

磯松地域は、両側にびっしり住家が建ち並び、日本海からたたきつける波しぶきなどで交通事情が悪く、ドライバー泣かせの道路でした。

道路幅員は、六ヶ前後であるが、特に冬期間の積雪時には二回の幅員となり、車輛の交差もできない状態が続く。夏期間にマイカーで訪れる観光客等からも、道路改良が望まれていました。

また、五所川原土木事務所では、昭和五十五年度から磯松バイパスの建設に着手していました。

バイパスの全長は一千六百〇〇円で、車道幅員六ヶ、除雪幅二ヶ、歩道二ヶ、総工費二億五千万円を投入して、このほど完成させたものです。

また、バイパスの出入口には導流島を設けるなど交通事故防止対策としての配慮もなされており、これで、交通渋滞や事故の心配もなくなる」と利用者、村民からも喜ばれています。

### 日本海中部地震・津波

## 人命救助の佐藤さんに感謝状

日本海中部地震による津波で、十三湖では六人の尊い犠牲者を出したが、村民の機敏な連係で一人の釣り人が奇跡的に救助されました。

「水死寸前の釣り人を発見するや身の危険も顧みず、濁流の中に飛び込み救助した。」

県警察本部(警視長小池康雄)では、釣り人を救助した佐藤二郎さんに感謝状を贈ったが、その伝達がこのほど、金木警察署相内駐在所で行われ、小笠原精二郎金木警察署長から佐藤二郎さんに感謝状と記念品としてメダルが手渡されました。



小笠原精二郎金木警察署長から感謝状と記念のメダルを伝達される佐藤さん(右)

救助された人は、中里町亀山に住む加藤博光さん。

加藤さんは、十三湖河口近くの突堤で釣りをしていたが、地震後最初に襲った津波に足をすくわれ、湖内に投げ出されました。近くにいた秋田谷完一さんが、十三湖大橋の上からロープを吊り下げ、ロープにつかまらせようとしたが、引き潮に押し流された加藤さんには届かなかった。

近くを通りかかった佐藤さんは、その状況を目撃し、一刻の猶予もならないと思い、ただちに救助するため、十三湖水戸口南側に降り、秋田谷さんが投下したロープを体に巻きつけ、そこに居合わせた長利勝雄さん、小山内利一さん、松橋茂雄さん、米谷幸治さん、秋田谷光子さんにロープの端を押えてもらい、濁流の中へ飛びこみ、約二十分

泳いだところで加藤さんを捕まえた。

この間、秋田谷さんらもけんめいにロープをたぐり寄せて協力しました。両人を岸へ引き寄せた途端に新たな大津波が河口に押し寄せており、危機一髪の間難をのがれました。

村では、この他に人命救助に協力した人たちについても近く表彰を上申する予定です。

役場の電話は  
2111番です

# お知らせ



## 身元不明死体の身元確認にご協力を

8月中は、身元不明死体の身元を確認する月間です。

本年6月末現在までの家出人(昭和45年から発見されていない人)は、全国で61,388人、県内では885人。

身元不明死体(昭和26年から身元のわからない死体)は全国で28,992体、県内では338体となっています。

このように多い、身元不明死体のの中には、家出中の自殺や病死、あるいは事故死、または犯罪の被害者となっている人などがよくまれており、この中から1体でも多く身元を割り出し、家出人をさかしておられる方の期待にこたえることを目的に、県下20警察署に相談所を開設し、資料をとりそろえて係員が相談に応ずることになっ

## 交通死亡事故 ゼロの記録

7月21日現在

### 700日達成

ゼロの記録を更新し、  
交通事故のない明るい  
村づくりをしましょう。

ています。

- 家出して、長い間所在がわからない。
- 突然所在がわからなくなり自殺したのではないかと心配だ。
- 出かせぎに行き、音信が急に途絶えた。など、心当たりの方は、ぜひおいでになり、資料による身元の確認にご協力をお願いします。



## 出稼ぎへ行く人へ —国民年金—

国民年金に加入している人が、出稼ぎ先で厚生年金などの職場の年金制度へ加入したときは、国民年金を辞めなければなりません。

国で運営している公的な年金制度への加入期間は、年金を受けるときはすべて通算されますが、同時に二つ以上の年金制度へ加入することができないことになっています。

多くの出稼ぎ先では厚生年金などの職場の年金制度へ加入することになりますが、全部の職場がそうだとは限りませんので、十分確認することが大切です。

出稼ぎへ行く前には、年金手帳を持って、かならず国民年金係へおよりください。



## 2級ボイラー技士 免許試験実施

1. 試験申請書受付  
9月1日・2日
2. 試験日 9月30日
3. 受験資格  
ボイラー実技講習会の課程を終了したものと
4. 試験会場  
青森・弘前・八戸

※上記についてくわしく知りたい人は当協会にお尋ねください。なお、受験資格に係るボイラー実技講習会を実施致しますので早めに連絡下されば実施要領等を送付いたします。

連絡先

五所川原市字新宮町84-5  
(社) 西北労働基準協会  
TEL 35-6336

## 11日、26日は休診

8月11日(休)乳児健診のため内科は午後休診となります。  
8月26日(金)1歳6ヶ月児健診のため内科、歯科とも休診となります。

## 8日朝 道路清掃

期 日 8月8日  
時 間 午前6時から8時まで  
実施内容は回覧等でご案内したとおりですからご協力願います。

## 観光地は きれいに

うっとうしい梅雨もようやく明け、夏がやってきました。子供たちは夏休みに入りグループや家族連れで観光地を訪れる機会が多くなることでしょう。しかし、行楽のため訪れた観光地がゴミの山に埋もれていたら、どんな気持ちで居るでしょう。せつかくの行楽も一運につまらぬものになってしまいます。

一度荒れ果てた自然を元に戻すには大変な努力を必要とします。私たちのちょっとした心掛け一つで、美しい自然を永遠に保つことができます。自然は私たち一人ひとりが観光地をきれいにしようとする美化意識を持つことが大切です。

後から訪れる人たちにも不快な思いをさせないために、観光地をきれいにしましょう。自分のゴミは自分で持ち帰りましょう。含んでいることばにこれからの行楽シーズンを迎えるようにしましょう。

# 生活の知恵

缶詰の日付を読もう

## 六ケタの数字で 年、月、日を表します



す。ただし、製造年月日が不明の場合は、輸入年月日が書き込まれています。  
なお、缶のふたに記されているアルファベットの文字は「品名記号」で、中身の原材料や調理方法などを表しています。



- お誕生
- 成田 一紀(青森)
  - 本荘 智子(十三)
  - 秋田 智(中里)
  - 竹谷 悦子(臨元)
  - 秋元 満(中里)
  - 行美(十三)
  - 豊島 文雄(十三)
  - 真崎登史子(北海道)
  - 高志(磯松)
  - 小川 定江(茅ヶ崎)

缶詰がおいしく食べられる期間は中身によってそれぞれ違います。一般的には製造後、果物缶詰は四年ぐらいと、肉、野菜缶詰で五年ぐらいといわれています。

ところで、国産缶詰の製造年月日は、缶のふたに数字で表示されています。

数字は六ケタですが、これは二ケタの数字が三組、と考えてください。つまり、初

めの二ケタが「年」を、次の二ケタが「月」を、最後の二ケタが「日」を表しています。

「年」は西暦か元号のいずれかが用いられますが、実際は、元号はほとんど使われていません。西暦の場合、下二ケタが記載されています。

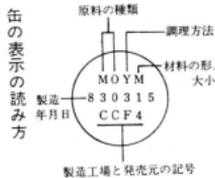
ところで、六ケタ表示になつたのは、一九八〇年三月からで、それ以前は四ケタの数字で表されていました。四ケ

タ表示で出回っているものもまだありますから覚えておくようにしましょう。

四ケタ表示では、最初の数字が西暦年号の末尾、二ケタ目が月(十月は0、十一月はY、十二月はZの略号で表示

三、四ケタ目が日を表しています。

一方、輸入品の場合、果物、野菜類については年月日を表示したラベルが張られています。



缶の表示の読み方

製造工場と発売元の記号

- 湯浅 真人(十三) 健二  
越谷 翔悟(十三) 悟  
秋田 優太(磯松) 義治  
三和 俊介(相内) 真
- 小寺 勝俊(臨元)  
佐々木千秋(磯松)

- 山田宇之八(十三) 82歳  
山内英太郎(相内) 81歳  
三上 善作(臨元) 75歳  
三和 正治(相内) 64歳

おくやみ

## 水の誘惑

### 思わぬときに 事故は起こる



夏の暑さはわたしたちを水辺へと駆り立てます。海、川、谷川のせせらぎ……。夏は水が恋しくなる季節です。  
しかし、わたしたちが水と親しくなるほど、水難事故が多くなることも見逃ができません。事故の大半は6月～8月の間に集中しているのです。

水の犠牲者の4割近くは中学生以下の子供です。57年の6月から8月までに水死したり、行方不明になった子供(中学生以下)は401人。このうち、子供だけで事故に遭ったというのが7割281人、残りの3割(120人)は保護者が近くにいながら水の犠牲となつています。

子供の水難事故は思わぬとき思わぬ場所です。子供だけで水泳や魚釣りに行かせないのももちろん、一緒に海や川へ行つたときは、子供のことを心にしっかりとつなぎとめておきましょう。

### こんには赤ちゃん

本荘博さん(長男)(十三)  
のりゆき  
統之ちゃん(10ヶ月)

楽しいお食事。  
お母さん早く作ってネ!  
いっぱい食べてますます元気。

